

## 令和5年度 特別の教育課程の編成の方針について

茨城県		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
鹿嶋市立三笠小学校（外10校）	鹿嶋市教育委員会	公立

### 1. 特別の教育課程の編成の方針に係る公表に関する情報

学 校 名	特別の教育課程の編成の方針に係る公表ウェブサイト名・URL 等
鹿嶋市立三笠小学校	<a href="http://www.kashima.ed.jp/~mikasa-el/wp/?page_id=24990">http://www.kashima.ed.jp/~mikasa-el/wp/?page_id=24990</a>

### 2. 特別の教育課程を開始又は変更した年度（特例の適用開始日）

2007年4月

2018年4月 変更

\* 取組の期間

2030年4月まで

### 3. 特別の教育課程の概要、特別の教育課程を編成する際の各教科等の授業時数

急速なグローバル化の進展の中で、英語力の一層の充実は我が国にとって、極めて重要な問題であり、国民一人一人にとって、異文化理解や異文化コミュニケーションはますます重要になる。その際、国際共通語である英語力の向上は日本の社会にとって不可欠である。これからの時代において必要とされるグローバルな視野を持った人材を早期から育成するため、小学校第1学年及び第2学年の生活科20時間を外国語活動に替えて実施する。

### 4. 地域や学校の特色とその特色を活かして特別の教育課程を編成して教育を行う理由

本市は常陸国一の宮鹿島神宮の門前町として栄え、発展してきた。また、2002年にはFIFAワールドカップの会場地となり、2021年には東京オリンピックサッカー競技が開催された。歴史的伝統とスポーツによる活力あるまちであり、「子どもが元気 香る歴史とスポーツで紡ぐまち 鹿嶋」を本市総合計画における将来像に掲げている。世界の人々とのコミュニケーションをとおして、本市の魅力の世界に発信していくことができるグローバルな人材育成をより一層推進することが、本市の発展と教育活動の充実に必要であると考え、教育課程の特別措置申請を行うこととした。

### 5. 実施の効果、課題および方向性

#### (1) 特別の教育課程の編成・実施の効果と手立て

本校では教育目標を「夢や希望をはぐくみ 個性を生かして学ぶ児童の育成」とし、児童の学ぶ意欲を向上させ、一人一人が「わかった」「できた」と実感できる授業づくりを行っている。第1、2学年における外国語活動の効果と課題は以下のとおりである。

- ・ワークシートなどを活用し（文字を介さずとも）、会話を通して学ぶことができている。
- ・ALTが児童の発達段階に合わせた英語の歌やゲームを作成し、児童が楽しみながら英語学習（第二言語学習）に取り組むことができている。
- ・苦手意識をもっている児童が、「英語が楽しい」と感じるができるよう、学習課題や活動内容などをさらに工夫していく。

## (2) 課題の改善のための取組の方向性

- ・低学年の児童が外国語活動に意欲的に参加できるように、英語専科教員やALTだけでなく、学級担任や他の先生方の協力を得ながら複数の目によるサポート体制を整える。
- ・非言語（ジェスチャー、アイコンタクト、クリアボイス）等に積極的に取り組ませていく。
- ・学校のホームページを活用して、年間の学習計画や授業での様子などを紹介し、保護者に理解してもらえる手立てを行う。